

事業所名

多機能事業所 オーロラ（邑侶楽）放デイ

支援プログラム

作成日

令和6年

12月

5日

法人（事業所）理念		利用児者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じて自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援する。							
支援方針		①利用児者が持てる力を出し切るように努める。利用児者が自分の力に自信を持ち自主性を養う ②それぞれの発達段階で地域（社会）（人）の期待に応え自己の願望や思いを遂げると同時にそのことを誇りに思えること。							
営業時間		8時	0分から	18時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし	※ご家庭への送迎はしていません。
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・顔色や様子の観察と把握をしています。 ・長期休みを利用し、1日の生活リズムを獲得出来るようにしています。 ・生活力が身につくように、汚れたら自分で着替える・自分が食べたテーブルは自分できれいに拭く・遊んだ物は片づけてから次の物を出す等、自ら行えるよう支援しています。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムやアクティビティを活動に取り入れ、姿勢の運動・動作・四肢の協調等、粗大運動や道具を使った運動課題等を行っています。 ・集団あそび（おにごっこ、ドッチボール、じんどり等）では、思いっきり体を動かし筋力を鍛えます。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・個別での文字や数字・概念形成等を図る支援、集団活動での適切な距離や行動の習得等を行っています。 ・学童いちばんぼしとの交流では、同学年の集団と出かける事で、場に適した行動を獲得できるよう支援しています。 							
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・個々がやりたい活動を選べる環境を整え、自分の思いを人に伝える事・伝えたいことを言語化する（できるようになる）事を大切にしています。又、集団活動や学童いちばんぼしとの交流において、個々の思いを伝えあい解決する事や相談して物事を決める事の経験値を積み、自分の気持ちに折り合いをつけられるよう支援しています。 							
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・学童いちばんぼしとの交流を深め、一緒にお泊まり会や季節の行事を行ったり、集団あそび・ルールがあるあそびを通して、友達と協力するおもしろさや楽しさを体験すると共に、子ども同士で学びあえる活動を取り入れています。 							
家族支援		保護者交流会・保護者会・事業所見学会・学習発表会・療育の見学など様々なアプローチで家族支援を行っています。親も利用児も楽しく学べるを大切に様々な活動を行っています。			移行支援		保護者のニーズを大切に法人の学童児童クラブとの交流を通して移行支援を行っています。		
地域支援・地域連携		行事（祭りなど）地域の方に来て頂き連携を取っています。地域の課題を把握し中核機能事業所として専門職が地域の会議などに参加し地域の支援を行っています。			職員の質の向上		月に一回土曜日の午後に全職員が集まっての研修を行い支援の質向上に努めています。（外部講師を招いての研修・内部での支援の振り返りなど）相談支援・強行・虐待防止などの研修に積極的に参加しています。		
主な行事等		季節の行事（クリスマス会、ハロウィン、節分等、）学年ごとのイベント、親子交流会年二回・保護者会・事業所見学会など							